研究機関：広島大学

研究課題名 急性期脳梗塞における頭部 CT の画質改善ー逐次近似再構成法の有用性に関する検討ー
研究責任者名　医系科学研究科 放射線診断学　教授　粟井 和夫
研究期間　平成 29 年 5 月 15 日（倫理委員会承認後）　～　令和 3 年　12 月
対象者 本院または共同研究機関において、急性期脳梗塞の疑いにて CT が撮像され、MRI あるいは経過観察の CT で脳梗塞が確定できる成人患者。
意義・目的 急性期脳梗塞が疑われた患者さんは緊急で頭部CTが撮影されますが、従来の画像作成法では梗塞巣を捉えることが困難なことが多く、確定診断にはMRIが必要となります。近年開発された逐次近似再構成法（Iterative Reconstruction: IR）は、撮像内の構造物を従来の方法よりも正確に再現することができ、画質を大きく改善させます。この研究では、IR法を用いることによって、急性期梗塞巣の描出能がどれだけ改善するかを検討します。
方法 本研究は、急性期脳梗塞が疑われた患者さんの頭部CT画像に対して画像処理、統計解析を行う多施設共同研究です。研究に必要な調査項目は、患者さんの性別、年齢、身長、体重、主訴、既往歴、家族歴、臨床診断、CT画像，頭部MRI画像、検査時の被ばく線量、画像診断です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関 本院以外の共同研究機関は、産業医科大学、広島市立安佐市民病院、新古賀病院、Bournemouth Hospital（イギリス）、Radboud University（オランダ）です。本院に全てのデータを集めて解析します。なお、キヤノンメディカルシステムズと共同研究契約を結んでいますが、キヤノン社は資金の提供のみで解析等には参加せず、結果に影響を及ぼすことはありません。
試料・情報の管理責任者 医系科学研究科放射線診断学　教授　粟井 和夫
個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3 Ｔｅｌ：082-257-5257 広島大学病院 放射線診断科　診療准教授　立神史稔